

科目名称	英文法基礎 I				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	()
英文科目名称	Basic English Grammar I				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	()
科目コード	590092	授業形態	演習	単位数	2			
教員氏名	水島 孝司		年次配当	1 年次	前期	ホテル・観光	(○)	大学編入 (○)
実務経験教員担当	有 ・ (無)		アクティブラーニング		(有) ・ 無			
授業概要 及び授業方法	この授業の目的は、大学生の日常のコミュニケーションに役立つ英語を学びながら、英文法・語法の基礎知識を確実に身につけるのを支援することである。授業で扱う文法項目の大半は英検3級レベルのものであるが、語彙や英語で表現する内容は大学レベルのものが中心となる。第7回以降の授業では毎回、学生の1分程度の英語スピーチで始める。原則として、教科書は1回の授業で1ユニットをこなす。この授業は英文法・語法の基礎を「音声を何度も聞いて、リピートして、書いて」、また「失敗を恐れずに人前で英語を使って」マスターしたいと思う学生に受講してほしい。							
関連する科目	英文法基礎 II				卒業認定(学習成果)との関連		①, ②, ③, ④	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、英語スピーキングテストなどに関する説明など) 2. 教科書Unit 1 (be動詞－現在形) 3. 教科書Unit 2 (一般動詞－現在形) 4. 教科書Unit 3 (be動詞－過去形) 5. 教科書Unit 4 (一般動詞－過去形、規則変化) 6. 英語スピーキングテスト *個別に実施 7. 学生のスピーチ 教科書Unit 5 (一般動詞－過去形、不規則変化) 8. 学生のスピーチ 教科書Unit 6 (命令文、There is [are] ～) 9. 学生のスピーチ 教科書Unit 7 (itの特別用法) 10. 学生のスピーチ 教科書Unit 8 (注意すべき疑問文) 11. 学生のスピーチ 教科書Unit 9 (進行形) 12. 学生のスピーチ 教科書Unit 10 (未来形) 13. 学生のスピーチ 教科書Unit 11 (助動詞－1) 14. 学生のスピーチ 教科書Unit 12 (助動詞－2) 15. まとめ 							
授業時間外の 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・意味や発音の分からない単語・熟語を辞書で調べる。 ・教科書の「解説」ページを読んでもよく理解できない文法項目を、中高で使った文法書などで調べる。 ・教科書のExpressionsにある英文をCDで聞いて、「正確に」リピートできるように練習する。 ・教科書のExpressionsにある英文と語句をCDで聞いて、「速く」「正確に」書けるように練習する。 ・教科書のExpressionsにある日本語を素早く英語で言えるように練習する。 ・1分程度のスピーチの7割以上を原稿を見ないで話せるように練習する。 (学習に係る標準時間は週約90分)							
授 業 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準2級合格に必要な英文法・語法の基礎知識を身につける。 ・教科書のExpressionsにある日本語を素早く英語に直すことができる。 ・授業で学んだ英語の一部を日常会話や英文メールなどで使うことができる。 							
課題に対する フィードバック	スピーチの内容と、英語表現レポートにコメントする。		評価方法・基準		期末試験(35点)、英語スピーキングテスト(15点)、英語スピーチ(10点)、英語表現レポート(10点)、参加度(20点)、自己評価(10点)			
テ キ ス ト	『大学生のためのコミュニケーション英文法(改訂3版)』(水島孝司、Roger Pattimore著、2018年、南雲堂)							
参 考 書	授業中に適宜指示する。							
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・「音声を何度も聞いて、リピートして、書いて」英語の基礎力を強化したいと思うだけでなく、それを毎週確実に実行する意志のある学生に受講してもらいたい。 ・英語の辞書を丁寧に引く(読む)習慣を身につけてほしい。 							

